

令和元年度に市民が負担した各種税金の内訳

市民税	40億0,406万円	軽自動車税	2億1,160万円
固定資産税	43億0,630万円	特別土地保有税	0円
市たばこ税	4億2,710万円	入湯税	396万円
都市計画税	3億3,403万円		

令和元年度に市民一人当たりに使われたお金

民生費	15万1,793円	教育費	3万1,311円
衛生費	4万4,630円	消防費	1万5,691円
土木費	4万3,389円	商工費	8,593円
公債費	4万1,327円	農林水産業費	8,399円
総務費	3万8,675円	災害復旧費・議会費など	8,374円

(令和2年3月31日住民基本台帳人口:6万4,820人)

国民健康保険鬼石病院事業会計

国民健康保険鬼石病院事業会計	収入(万円)		支出(万円)			
	科目	予算額	収入済額	科目	予算額	支出済額
収益的収入及び支出	病院事業収益	11億7,574	11億8,788	病院事業費用	12億7,769	12億4,996
	医業収益	9億6,681	9億7,661	医業費用	12億2,529	12億0,228
	医業外収益	1億8,418	1億8,517	医業外費用	1,838	1,575
	特別利益	0	0	特別損失	50	0
	訪問看護ステーション収益	2,475	2,610	訪問看護ステーション費用	3,252	3,193
資本的収入及び支出	資本的収入	5,596	5,545	資本的支出	7,876	7,677
	企業債	1,050	1,050	建設改良費	2,801	2,602
	他会計補助金	4,546	4,495	企業債償還金	5,075	5,075
	固定資産売却代金	0	0			

地方債

(各年度の決算額)

会計名	平成29年度	平成30年度	令和元年度
一般会計	221億6,266万円	217億9,643万円	212億8,372万円
介護老人保健施設	1億9,943万円	1億8,412万円	1億6,564万円
住宅新築資金等貸付事業	168万円	56万円	0円
下水道事業	57億3,452万円	55億5,954万円	53億5,186万円
特定地域生活排水処理事業	6,802万円	6,376万円	5,936万円
簡易水道事業等	7,237万円	6,647万円	5,924万円
水道事業	58億3,654万円	56億3,568万円	53億0,843万円
国民健康保険鬼石病院事業	5億2,080万円	4億8,078万円	4億4,053万円
一部事務組合(市負担分)	174億1,558万円	165億9,361万円	155億9,179万円
負債の合計	520億1,160万円	503億8,095万円	482億6,057万円
市民一人当たりの負債	78万8,246円	76万8,811円	74万4,532円

健全化判断比率などについて

健全化判断比率および資金不足比率は、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づいて算出されたものです。財政状況が悪化しその比率が一定の基準を超えた場合には、財政健全化計画や財政再生計画、経営健全化計画の策定が義務付けられています。

藤岡市の令和元年度決算における健全化判断比率および資金不足比率は、国が定める早期健全化基準および経営健全化基準を下回る結果となり、本市の財政状況および公営企業の経営状況が健全であることを示しています。

健全化判断比率 (単位: %)

比率名	比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	-	12.75	20.00
連結実質赤字比率	-	17.75	30.00
実質公債費比率	9.7	25.0	35.0
将来負担比率	4.9	350.0	

※実質赤字比率と連結実質赤字比率は黒字のため「-」で表示しています

資金不足比率 (単位: %)

会計名	比率	経営健全化基準
水道事業会計	-	20.0
国民健康保険鬼石病院事業会計	-	
下水道事業特別会計	-	
特定地域生活排水処理事業特別会計	-	
簡易水道事業等特別会計	-	

※各会計とも黒字のため「-」で表示しています

【参考】比率の概要

区分	概要
実質赤字比率	1年間の収入に対する一般会計等の赤字額の割合。
連結実質赤字比率	1年間の収入に対するすべての会計の赤字額の割合。
実質公債費比率	1年間の収入に対する一般会計等の支出のうち、公債費や公債費に準じる経費の割合。
将来負担比率	1年間の収入に対する一般会計等が将来的に負担することになっている実質的な負債額(職員の退職金や地方債、特別会計等の地方債に対する繰出金など)の割合。
資金不足比率	公営企業の事業規模に対する一般会計等の実質収支にあたる公営企業会計の資金不足の割合。

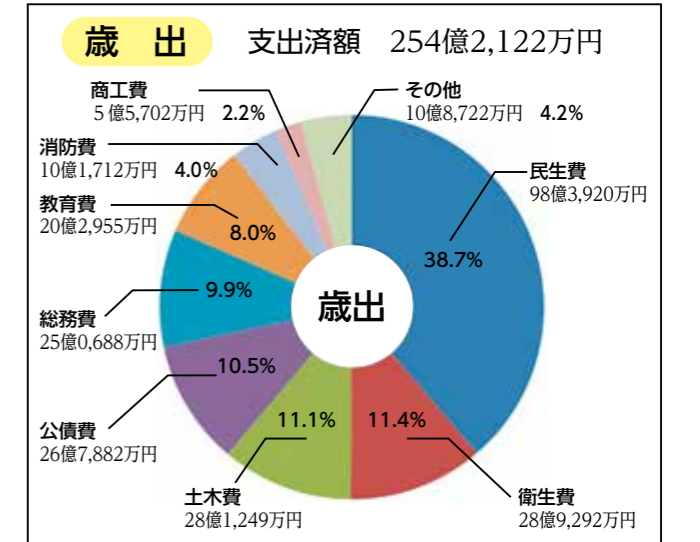
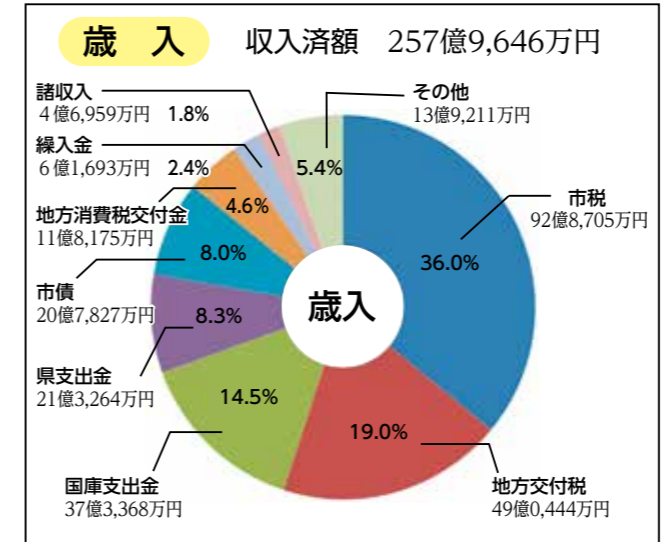
令和元年度 決算概要

一般会計は、歳入決算額257億9,646万円、歳出決算額254億2,122万円で、翌年度に繰り越すべき財源1億3,745万円を差し引いた実質収支は2億3,779万円の黒字決算となりました。

主な事業では、高齢者運転免許証自主返納支援事業など高齢者施策の充実、藤岡インターチェンジ西産業団地関連事業など企業誘致の推進、防災公園整備事業、消防ポンプ車購入事業など市民の安全安心と消防防災

体制の強化、通学路防犯カメラ設置事業、小中一貫教育推進事業、コミュニティ・スクール事業、小中学校体育館改修事業、公民館大規模改修事業など地域と一体となった教育環境の整備を実施しました。

また、新型コロナウイルス対策として、感染予防を図るためのマスクなどの購入や小学校の臨時休校に伴う学童保育所の対応などを実施しました。



特別会計

会計名	予算額(万円)	歳入		歳出	
		収入済額(万円)	収入済率(%)	支出済額(万円)	支出済率(%)
国民健康保険事業勘定	73億0,615	73億7,251	100.9	72億8,380	99.7
後期高齢者医療	7億5,332	7億7,191	102.5	7億5,244	99.9
介護保険事業勘定	63億3,171	60億8,471	96.1	60億5,431	95.6
介護老人保健施設	2億6,198	2億6,452	101.0	2億5,821	98.6
住宅新築資金等貸付事業	441	541	122.7	441	100.0
学校給食センター事業	5億1,210	4億7,899	93.5	4億7,843	93.4
下水道事業	10億0,936	8億9,116	88.3	8億3,674	82.9
特定地域生活排水処理事業	2,370	2,329	98.3	2,227	94.0
簡易水道事業等	7,397	7,472	101.0	6,653	89.9
三波川財産区	197	197	100.0	163	82.7

水道事業会計

国民健康保険鬼石病院事業会計	収入(万円)		支出(万円)			
	科目	予算額	収入済額	科目	予算額	支出済額
収益的収入及び支出	水道事業収益	14億4,453	14億6,392	水道事業費用	12億5,171	11億9,163
	営業収益	13億2,082	13億2,670	営業費用	10億6,627	10億2,637
	営業外収益	1億1,790	1億3,134	営業外費用	1億6,503	1億6,502
	特別利益	581	588	特別損失	60	24
				予備費	1,981	0
資本的収入及び支出	資本的収入	2億2,541	2億1,805	資本的支出	8億6,116	8億0,865
	企業債	6,200	6,200	建設改良費	4億4,191	4億1,940
	出資金	2,769	2,769			
	負担金	1億0,572	9,836	企業債償還金	3億8,925	3億8,925
	補助金	2,769	2,769	予備費	3,000	0
	固定資産売却代金	231	231			

